

## ■欧州：ENTSO-E が域内の送電線の整備計画を発表

欧州電力系統運用者ネットワーク（ENTSO-E）は 2010 年 3 月 1 日、今後 10 年間の域内の送電線の整備・拡張計画を発表し、2015 年までに約 500 件のプロジェクトに対して 230～280 億ユーロ（約 2 兆 8,000 億～3 兆 4,000 億円）の投資が必要であるとした。この試算は、ENTSO-E が欧州委員会の委託を受けて作成した 10 年間の整備計画に基づいて 2015 年までに必要な投資額を算出したもの。本計画の中で ENTSO-E は、安定供給の維持、域内における国際連系線を通じた活発な電力取引、さらに、今後増加が予想される風力・太陽光電源の系統連系のために、2020 年までに 7,000km の既設送電線の更新と 3 万 5,000km の送電線の新設が必要であり、2015 年までに 1 万 8,700 km の送電線の新設が必要であるとしている。ENTSO-E は、従来の欧州各地域の系統運用者による協調機関（ATSOI、BALTSO、ETSO、NORDEL、UCTE、UKTSOA）が 2009 年 7 月 1 日に統合された系統運用者の協調機関で、現在、欧州 34 カ国の系統運用者 42 社が加盟している。